

【奨 励 賞】



氏 名 チャン ティ グエット
国・地域 ベトナム
在日期间 4年
所 属 ジャパンファーム (実習生)

タイトル: もしも“あの頃”に戻れるとしたら…

みなさんのお父さんはどんな人ですか。

お父さんのことが好きですか？

私はお父さんが嫌い、来世があるならお父さんの子供になりたくない。

それは10年前にお父さんにそう言いました。

当時のベトナムでは、男尊女卑の考え方がまだ広くて、お母さんが4番目の娘を出産してから、家族の生活が一変してしまいました。お母さんは叔母さんに出ていけ、早く死ねとよく言われたり、暴言を吐かれたり、嘲られたりして、でもお父さんは何も言わないまま、お母さんを守ってくれなかった。それでお母さんはすごくストレスが溜まって我慢できず、結局私たちを残して遠く離れてしまいました。

お姉ちゃん、お母さんに会いたい、いつ帰ってくるの？幼い妹たちに聞かれるたびに、涙がこみ上げて、「もう来年お母さんきっと帰ってくるよ」、嘘の私が言いました。

どうしてお母さんを守ってくれないの？お母さんを守ってくれたら、今私たちとそばにいるんじゃない、自分の中でいつもお父さんを咎めてました。

ある日、家族みんなで夕飯を食べながら、突然お父さんが「高校卒業したら何がしたい？」と聞きました。子供の頃からずっと素敵な日本に憧れてるので、「日本に留学したい、日本の大学で勉強したい」と答えましたが、お父さんに「それはちょっと、今の家計で日本に留学するのは難しいよ」と反対されました。わがままな私は『あれ、子供を育てるのは親の責任じゃないの、私は女の子だから嫌われるのかな』と覚えてしまいました。

それからお父さんとあまり話さなくなりました。

でも結局1年後、2018年にお父さんのおかげで実習生として日本にきました。

日本に来てから、お金を稼ぐのは簡単ではないということがわかってきました。

それでもお父さんは、私を日本に行かせるために人一倍仕事を頑張ってお金を貯金して、何

年間も自分の新しいものを全然買っていませんでした。生活に疲れても、平気な顔をして、子供4人を養育するのが大変だけど、愚痴ったことはありません。

日本人は食事をする時、料理を作った人に対する感謝の気持ちを込めて、いただきます、ごちそうさまでしたという言葉、よく言いますよね。でも私はそういう言葉をお父さんに一回も言ってませんでした。感謝しないで料理を作ってくれるのが当たり前のことだと思ってしまいました。日本に来てから、お父さんの料理が愛情で作ってくれるから世界で一番美味しい…と気づきました。

数か月前に一時帰国して、5年ぶりにお父さんと再会できました。

髪色が白くなって、たくさんシワができて、特にお父さんの手にできたタコを見ると、感情が抑えられなくて涙が溢れてきました。

私を抱きしめて笑いながら、寄る年波には勝てねえよって言ってくれました。

なんであの時、お父さんの気持ちに気づけなかったの？

もし、時間が戻れるとしたら、ちゃんと感謝の気持ちを伝えたい、悩みが聞きたい、絶対心配させない。

あの時、いい加減なこと言わない、お父さんの悩み、苦しみを同情したら、お父さんあんなに寂しくならなかったかもしれないなって、自分を責めました。

日本の大学で勉強できなくても、お父さんのおかげでせめて実習生として素敵な国に来ました。そして日本に来たきっかけでお父さんの大変さ、お父さんの気持ちに気づきました。心から本当にありがたいです。

お父さんがまだそばにいてくれるうちに、後悔しないように、これからもっと大切にします。

お父さんは立派な男ではありませんが、私にとって立派なお父さんです。

最後にまたみなさんに質問です。

お父さんのことがどれくらい分かってますか？

感謝の気持ち、愛情の気持ち、お父さんにちゃんと伝えましたか？

これで私のスピーチを終わります。

ご清聴ありがとうございました。